



## IPTC が OCP-IP に参加

オレゴン州ポートランド – 2006年5月8日 – OCP-IP ( Open Core Protocol International Partnership ) は、IPTC Japan ( 株式会社アイ・ピー・ティー・シー ) 社が OCP-IP に参加したことを発表します。IPTC 社は、OCP の利点を普及させることにより、効率的な IP 再利用および IP 取引を日本全国に確立していきます。

IPTC 社は、東芝、日経 BP 社、三菱商事の 3 社出資により 2000 年 5 月に設立され、安全で公正、かつ効率的な IP 取引を日本国内で確立しています。IPTC 社は、このため、IP 評価から購入後の技術サポートまで、会員向けの完全な IP 流通向けサービスを提供しています。また IPTC は、IP デистриビューター とベンダーの協力による、IP マーケティングのためのインフラストラクチャも提供しています。これらの取り組みが、日本のエレクトロニクス業界の成長と急激な拡大に大きく作用しています。

IPTC 社は、OCP-IP メンバーへの加入に加え、横浜市にある横浜情報文化センターで 5 月 9 日に開催される OCP セミナーを主催することを発表しています。このセミナーは、IP コア インターフェイスの課題における最新技術と最近の動向に焦点を置いています。講演予定者には、東京大学、Trans EDA, 社、東芝、Texas Instruments 社、Sonics Inc 社などの基調講演が含まれています。

OCP-IP の Ian Mackintosh 会長は、次のように述べています。「真の IP 再利用の唯一の方法は、OCP などのような、標準のソケット インターフェイスを使用することです。OCP を駆動して SoC 設計用のソケット インターフェイスとして幅広く使用され採用されるように推進するという OCP-IP の使命と同様に、IPTC の使命は、生産性の高い IP 再利用およびトレーニング環境を日本中に確保することです。このことにより、2 つのグループ間で自然なパートナーシップが形成されます。我々は、同社が OCP を採用および支持してくれたことを大変うれしく思うとともに、今後も共同で作業を行っていくことを楽しみにしています。」

OCP-IP のメンバーには、トレーニング、サポート、ソフトウェア ツール、およびマニュアル類が無償で提供されます。このインフラストラクチャにより、IP ベンダー、EDA ベンダー、SoC インテグレータは、独自規格やサポート ツールを社内設計し、マニュアルを作成し、トレーニングを行い発展させてゆく必要がなくなるため、さまざまな SoC 設計において迅速に統合でき容易に検証できる IP 開発という課題にリソースと努力を集中させることができるようになります。その結果、IC 設計チームは貴重なリソースを製品の設計および供給のみに投入できるようになります。

### OCP-IP について

OCP International Partnership Association, Inc. ( OCP-IP ) は、2001 年、相互接続可能な仮想コンポーネントの迅速な作成と統合を保証する包括的なソケット標準規格として、Open Core Protocol ( OCP ) を推進およびサポートする目的で発足しました。OCP-IP の Governing Steering Committee

には、Nokia 社 [NYSE: NOK]、Texas Instruments 社 [NYSE: TXN]、東芝セミコンダクターグループ ( Toshiba America TAEC を含む )、および Sonics 社が参加しています。OCP-IP は非営利団体であり、システムレベルの統合化要件を総合的に満たす、フルサポートされたオープンライセンス方式のコア中心プロトコルを、世界で初めて提供しました。OCP を使用することで、IP コアの再利用が容易になり、SoC の設計期間、リスク、および製造コストを削減できます。OCP ソケットは VSIA により承認されており、OCP-IP は VSI Alliance に加入しています。詳しい背景やメンバーの情報については、[www.OCP-IP.org](http://www.OCP-IP.org) をご覧ください。

**追加情報については、次の窓口にお問い合わせください。**